



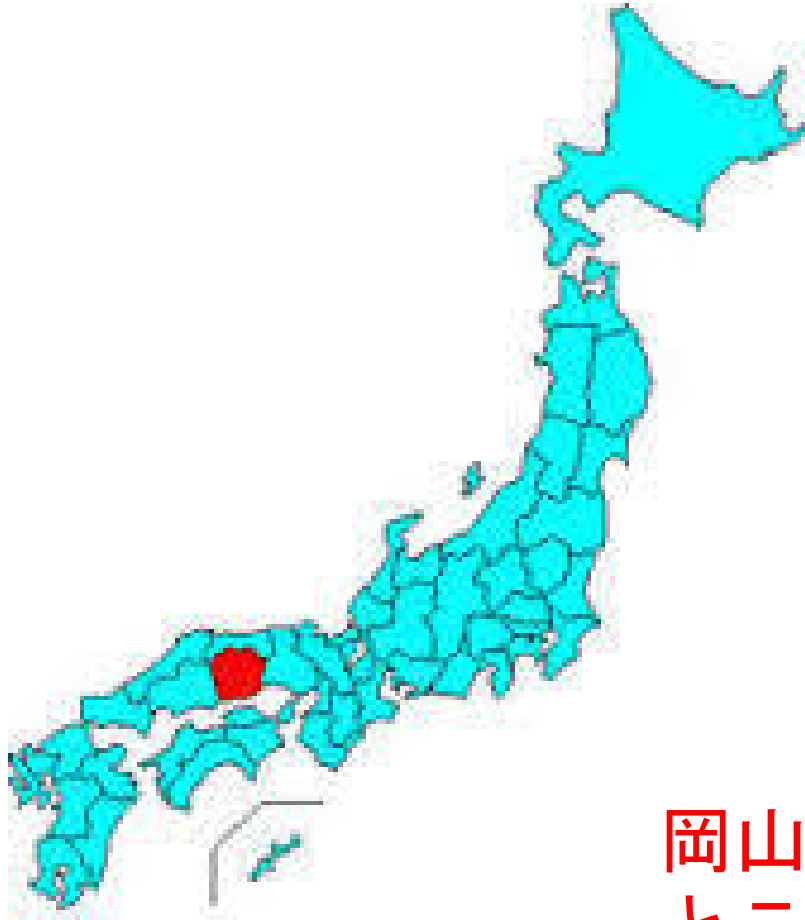
# 防災教育チャレンジプラン最終報告

みんなで高めよう  
防災力・地域の  
絆！

2017.2.16

はじめに

## 岡山県の安全神話



- 地震が少ない
- 台風被害が少ない
- 火山がない
- 晴れの日が多く，雨の被害が少ない



岡山県民はどこか安心しているところがある

## 岡山県は自然災害が少ない？

- 岡山県では過去70年間、震度5以上の揺れを記録していないが...

昭和南海地震（1946年12月21日） 震度6（岡山市西大寺）

兵庫県南部地震（1995年1月17日） 震度4

鳥取県西部地震（2000年10月6日） 震度4

鳥取県中部地震（2016年10月21日） 震度4

※2000年に入って震度4以上は6回記録

- 「晴れの国岡山」というが、集中豪雨による河川の氾濫は度々起きている。

兵庫県西・北部豪雨（2009年8月9日）：美作市で浸水・土砂災害

- 火山はないが...

程度の差はあるが、自然災害は起きている

はじめに

# 曾根小学校はどこ？



曾根小学校は曾根学区の二次避難場所

## 曾根小学校区の防災上の問題点

- ①干拓地であるため、地盤が砂や粘土質で軟らかく、揺れが大きくなり、液状化現象が起きやすい。
- ①南海トラフ大地震が発生した場合、児島湾に近いため、津波による被害が予想される。
- ②平地のため学区内に小高いところがない。

☆二次避難場所として曾根小学校が指定されている。

## 防災教育チャレンジプランの目的

- ①持続可能な防災教育の確立
- ②地域と連携した地域防災訓練の推進



## 防災教育計画の作成

学年	避難訓練	防災教室 特活	心の学習 道徳	総合的な学習
1	地震・火災 避難訓練 毎学期実施	緊急地震速報 身の守り方	家族愛	
2		津波の危険	家族愛	
3		地震体験車 台風・豪雨	生命尊重	
4		出前授業 (東京海上日動)	生命尊重	
5	学区民防災 訓練	地震体験車	生命尊重	曾根地区と防災 (20時間)
6		心肺蘇生法研修 地震の起こる仕組み	尊敬・感謝	

## 防災教育チャレンジプラン年間計画

月	対象	項目	教科・領域
4月	全学年	熊本地震募金活動	
5月	5年	誰もがすみやすい曾根にするために(通年)	総合的な学習の時間
6月	6年	心肺蘇生研修	特別活動
8月	教職員	3・11と熊本地震から曾根学区の地震防災を考える	研修
10月	全学年	鳥取県中部地震対応	
11月	全学年	命を考える道徳授業	道徳
12月	全学年	防災教室・予告なしの避難訓練	特別活動
1月	全学年 児童・住民	開校記念日講話 学区防災避難訓練・防災訓練	特別活動
2月	住民	学区防災訓練の反省会	

# 防災教育チャレンジプランの啓発



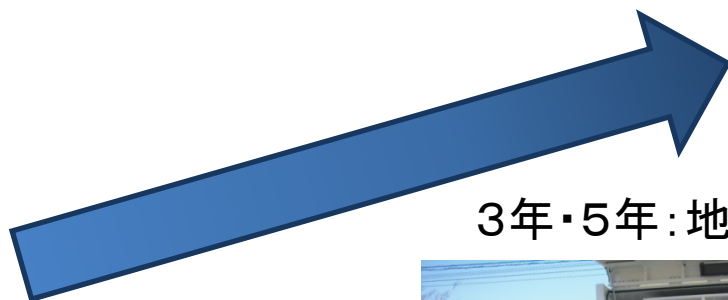
玄関にのぼりをたてる



認定証の掲示



## 発達段階に応じた防災教室



1年：緊急地震速報を学ぶ



3年・5年：地震体験車学習



6年：地震の起こる仕組み



## 6年心肺蘇生法研修



日本赤十字社による健康・安全プログラム(AEDを使った心肺蘇生)を活用

6月6日(月) 2時間  
6年生全員が受講  
教職員も全員指導に参加



## 5年総合的な学習の時間の計画

### テーマ

だれもが暮らしやすい曾根にするために，災害から身を守るについて調べよう。

### 学習内容

1学期 熊本地震の新聞記事から，地震を学ぶ。  
震災ボランティアの体験談を聞く会

2・3学期 防災食づくり  
地震について班で調べ，地域に発表する。



## 5年「総合的な学習の時間」の実践



- 調べ学習のテーマ
- 地震のための備え
  - 地震後の生活
  - 避難所
  - 震災ボランティア
  - 地震はどうやって起きるか

震災ボランティア体験を聞く会

# 5年「総合的な学習の時間」の実践

防災食づくり(パッククッキング)  
リゾット・リンゴコンポート



調べ学習



地域防災で発表(ポスターセッション)





## 初めての予告なし地震避難訓練

※これまでの避難訓練は，日時を予告し，担任主導で行っていた。



図書館



運動場

- ・時間帯 業間休み
- ・放送緊急地震速報音＋「避難訓練 地震が発生 気を守る行動をとりましょう」
- ・終了後 振り返り学習

## 今年起きた地震への対応

### 熊本地震募金活動

- ・児童会運営委員会が主体
- ・児童・保護者・地域に呼びかけ
- ・日本赤十字社を通して寄付



運営委員がテレビ放送で結果を報告する

### 10月21日鳥取県中部地震

14:07

突然の揺れ(岡山市南区震度4)

5校時授業中

担任はすぐ身を守る態勢を指示

教頭 一斉放送



揺れ収拾後、運動場に一次避難

全員の安否確認



情報収集、校舎の安全確認



授業再開

## 教職員研修(防災教育)

「3. 11と熊本地震に学び、曾根学区の地震防災を考える」  
岡山理科大学客員研究員 西村敬一 先生

「避難所運営での教員の関わり  
～熊本地震のボランティアに参加して～」  
岡山教育委員会指導主事 中曾根篤史 先生



# 開校記念日の講話「曾根地域と昭和南海地震」

(元連合町内会長)

講師 猶原 憲作氏

日時 平成29年1月16日 1校時





# 曾根学区民支え合い防災体制づくり推進協議会

## 第1回会議の様子



会長：連合町内会長  
副会長：単位町内会長

## [参加団体]

曾根学区連合町内会  
曾根小学校，曾根小学校PTA  
曾根保育園，曾根保育園保護者会  
曾根学区子ども会育成連絡協議会  
曾根学区婦人会  
曾根学区体育協会  
曾根小学校区老人クラブ連合会  
民生児童委員・主任児童委員  
曾根学区栄養改善協議会  
曾根学区愛育委員会  
助けられ上手研修OB会  
消防団興除第二分団



# 平成28年度曾根学区民防災訓練

「いざ避難」みんなで高めよう、防災力・地域の絆！！

日時 1月21日(土)8時～12時

＜今回のねらい＞ 家族全員で避難訓練

- ・親世代(30～40代)を避難訓練に巻き込む。
- ・幼児, お年寄りを優先した避難行動ができる。
- ・学校閉校時(休日・夜間)への対応

＜実施方法＞

- ・土曜の朝(7時30分)に地震の発生を想定
- ・小学校は授業日とする(全員参加)
- ・1次避難場所へ(各地区の指定場所)
- ・2次避難場所へ(小学校の校舎3階)
- ・教員は避難の様子を見守る

「いざ避難」みんなで高めよう、防災力・地域の絆！！

★★★★ 曾根学区民の防災訓練にご参加を！！ ★★★★★

開催日時 平成29年1月21日(土)午前9時

場 所 岡山市立曾根小学校 ※雨天の場合はプログラムを変更して行います

南海トラフ巨大地震(津波)を想定して、児童と共に避難!

9:00	曾根小学校へ避難! 順次 校舎3階→体育館へ	校舎
9:10~ 9:25	5年生児童による各ブースの説明(地震災害について) 防災ボランティアセンターについての展示パネル	
9:30	開会、来賓挨拶	
9:40~ 9:55	興除中学校1年生の防災学習発表	体育館
10:00~ 11:20	防災士による講話 及び実技指導 「避難所で役立つ知識とクロスロード」	
11:25	閉会	
11:35~ 11:50	消防団の操法訓練見学	校庭
12:00	児童・園児の保護者への引き渡し訓練	校舎
12:10	解散	校庭 校舎

主催: 曾根学区支え合い防災体制づくり推進協議会・曾根小学校・曾根保育園  
(構成団体: 曾根学区連合町内会・各種団体)

# 曾根学区民防災訓練

合言葉は 「家族全員で避難」



二次避難

➡  
3階へ



3階廊下



全体研修会の様子  
体育館



## 曾根学区民防災訓練のようす



## 実践のまとめ

### <成果>

- 年間計画の策定により，年間を通じて防災教育を実施できるようになった。
- 「地震体験車」や「心肺蘇生法研修」といった体験活動を取り入れたことで，地震や共助といったことに関心が高まった。
- 学区防災訓練に地域と共に協同して取り組むことで，地域連携が深まった。

### <よかったこと>

- 「防災教育チャレンジプラン」の幟を掲げたことで，町内会や教育委員会の協力が得られやすくなった。

## 実践のまとめ

### <課題>

- 防災教育を持続可能な教育として定着させること。
- 防災教育関係の研修会に、担当者だけでなく様々な教員の参加を促すこと。

### <継続予定>

ESDの視点に立った防災教育として継続発展させる。

- 高学年では、知識や技能を体験的に学ぶ学習の継続
- 地域と連携した学区防災訓練を毎年実施